

2022年度 地方組織の活性化に係る助成 事業一覧

No	加盟団体	事業名	事業内容
1	青森県ゲートボール協会	ネットワーク構築によるゲートボールの活性化	「人と人をつなぐゲートボール活性化のネットワーク構築の実現」 ①ゲートボールが継続しやすい環境づくりのための、青森山田・青森明の星両高校の生徒、OBOG、顧問及び県協会役員とネットワーク構築研修会の実施 ②ジュニア、ミドル層をターゲットにした活動（学童、ミドルなど体験会） ③地域行事などコミュニティ内でのゲートボールネットワークの活性化活動 ④SNSの活用によるネットワークの構築
2	秋田県ゲートボール協会	「すぱーく」を活用した地域共生社会の実現	「潟上市すぱーく天王」を会場として、秋田県中央地区企業の社員と家族並びに町内会単位の参加を促し、ゲートボール体験を通して仲間づくりや仲間との絆を深める。 指導者は、日本スポーツ協会公認の県協会会員が担当し、生涯スポーツとして認識してもらう。
3	山形県ゲートボール協会	楽しいゲートボールを次世代へつなげよう	地域創生を勉強している大学生と一緒に、小学生との交流大会や地域に密着したイベント等を企画し、ゲートボールの楽しさおもしろさを普及する。 ①学生の若い感覚で企画する大会、イベントの開催 ②学生と共にSNSを活用した情報を発信する ③近隣大学との交流を図り、情報交換を行う
4	千葉県ゲートボール連盟	審判員手話講習会	昨年実施した手話講習会で、県内ろうあ者13名が県連盟に入会した。今年は2022年に千葉で行われる全国ろう高齢者ゲートボール大会に向けて、審判員に手話講習会を実施する。手話の基本を習得し、聴覚障がい者が安心してゲートボールを楽しめる雰囲気・土壌づくりを行う。
5	東京ゲートボール連合	活！ゲートボール・手話通訳者のためのゲートボール体験会 in TOKYO	手話通訳者にゲートボールについて学んでもらい、ゲートボールの本格的な知識を身につけてもらう。手話通訳者のためのゲートボール講習会、競技体験会を4回開催予定。
6	長野県ゲートボール連盟	ゲートボールの楽しさを周りの方に伝えましょう 長野県連盟 デジタル化推進	①初心者スクールのほか、過去に参加された方や近年会員になった方に対してフォローアップスクールを開催し、新規会員獲得と定着を目的とする ②ゲートボールの楽しさを伝えるため、指導員の資質を向上させる ③「多目的屋内ゲートボール場すぱーく」などがある地域や、会員が減っている地域に「出前スクール」として指導員を派遣し、地域を活性化させる ④SNSを活用し、ゲートボールをアピールする
7	三重県ゲートボール連合会	新規加入キャンペーン・ゲートボール教室	若年層リーダーの育成、レディース研修会、新人研修会を行い、活性化につなげる。 健康維持や技術向上、学生チームなど、地域の特色を明確に打ち出したチームを設立する。
8	大阪府ゲートボール連盟	多様な人々とのGB交流～主としてdeaf(聴覚しょうがい)の人々と	大阪府内にはデフ（deaf=聴覚障がいを持つ人）会員によるチームや、健常者との混同チームが多くあるため、デフの人たちのネットワークを通してGBの普及拡大を図る。合同練習や交流試合、手話通訳の基礎研修を行うことで、競技力の向上と相互理解につなげる。
9	島根県ゲートボール協会	島根県ゲートボール愛好者の活動を広く内外に公開	ゲートボール動画の他、県内会員のゲートボール以外の活動、素顔に迫る動画を撮影して配信する。愛好者以外にも有益な情報を提供することで、ゲートボールに関りがない人にも興味を持ってもらえるようにする。
10	岡山県ゲートボール協会	大学拠点推進	①岡山大学、環太平洋大学、美作大学による、交流ゲートボール大会の実施 ②美作大学での同好会の結成および付属高校への働きかけを行う ③環太平洋大学で行われる「キッズパーク」イベントでゲートボール教室を開催し、小学生の関心を高める
11	広島県ゲートボール連合	ボールリレーを活用したゲートボールのイメージアップ戦略	昨年企画して好評だった支部単位での親善大会とボールリレーを活用し、普及モデルを構築する。ボールリレーはゲートボールのルールを理解していなくてもすぐ楽しめるので、ゲートボール導入のきっかけとして各大会や障がい者施設などで実施する。 ①各支部単位で広島県親善ゲートボール大会、ボールリレー大会を開催する ②障がい者施設や、在住外国人支援および地域交流促進活動をする市民グループとボールリレーの練習会、大会を行う ③広島県ゲートボール連合の公式LINEアカウント開設し、大会案内や大会結果、普及活動などを発信する
12	高知県ゲートボール協会	総活性化プロジェクト	①学童保育で定期的にゲートボール体験会を行う。アンケートを取りながら改善に努め、教育委員会等と相談しながら広報活動に取り組む。その場限りに終わらせないような普及活動を検討する ②高知工科大学の学生と意見交換会を開き、若者世代にささる施策、イベント企画に挑戦する。既存会員だけが楽しむのではなく、県協会自体を活性化させる意識を持つ
13	長崎県ゲートボール協会	未来に繋げるゲートボール	①組織内の指導者不足解消のため、指導者育成強化の研修会などを実施する ②隣接する離島間の交流大会を実施して、地域の活性化、離島会員の拡大を図る ③県内の身体障がい者ゲートボール大会時の運営援助及び審判員の派遣を通じて、幅広く会員の拡大を目指す
14	鹿児島県ゲートボール協会	組織活性化事業	①ジュニア育成団体の組織強化・自立化 ・ジュニア育成会の活動を支援する ・魅力的なイベントを企画実施し、ゲートボールの認知向上を目指す ②県内組織の系統化・活性化 ・事務マニュアルを核とした、効率的な事務運用の実現を目指す ・組織活性化プロジェクト会議等を開き、地区協議会の実情を調査する ・地区事務局長、競技審判長の会議を開き、地区大会の活性化や財源確保策を検討する ③ 離島の振興、競技力の向上 ・ 離島のゲートボール振興を図るため、振興会議を実施する
15	沖縄県ゲートボール連合	審判員リーダー養成講習会	①審判実施要領に示されている審判員の役割について、初心に戻り再確認する ②審判員の通告・宣告・補助ジェスチャーの正しい要領について周知徹底を図る ③身体にハンディキャップのある競技者に対応可能な思いやりのある審判方法を検討する ・簡単な手話の習得と、ボードを利用した打順の通知方法など審判方法を研究する ・親睦大会などではタイムオーバーを緩和するなど、参加者がのびのびとプレーを楽しめる気配りのできる審判員を育成する